

住民全体で福祉のまちづくりを推進する情報交流誌です

よつ葉のクローバー



KIKUSUI 福まち通信

No.86
2019.1.15

菊水地区福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10

迎春

平成三十一年 亥年



皆様あけましておめでとうございます。

平成30年9月6日(木)早朝に起きた大きな地震に、地域の皆様もビックリして飛び起きたことと思います。震源地に近い厚真・むかわ・安平地区では大きな被害が出ました。山が崩れ岩や泥が民家を押し潰し、家屋の全半壊により亡くなられた方や怪我をされた方が多数出ました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復旧・復興をご祈念いたします。

後に「胆振東部地震」と名付けられ、札幌市内でも、清田区里塚地区の一部では液状化による地盤沈下等で家屋が大きく傾き、日常生活ができない状態となりました。東区では道路の陥没や亀裂により、長期通行不能となりました。また、今回の地震によって道内全域がブラックアウトになったり、更に一部地域では断水も発生したため、マンションや共同住宅及びオール電化の住宅等では食事の用意やトイレその他生活用水の使用ができなく、発生直後から水や食料品・乾電池・携帯のガスボンベ等を求め、多くの人がスーパーやコンビニに列を作り、不便な生活を強いられる状態が、停電復旧後もしばらく続きました。

札幌市は、今まで洪水や地震等の災害が少なかったため、防災意識も低いという調査結果もあり(特に若年層ほどこの傾向が強く、防災関連行事にもほとんど参加がないという現状)、地震によってこれほど大きな被害になろうとは市民はもとより行政も想定外であったと思われ、情報の錯綜や避難所の開設・運営にも課題を残す結果となりました。

今でも余震が続き、また大きな地震が来るかもと不安に思うかもしれませんが、この災害を教訓として、防災の意識の向上を図るとともに、せめて3日分ぐらいの水・食料・防災用品等を揃えておくことも必要ではないでしょうか。

年頭に当たり、この大地震の経験を踏まえ、防災意識の徹底を心に刻んだ次第です。



菊水南連合町内会
会長 木村 誠恭



「災い転じて福となす」

大地震、ブラックアウト。備えあれば憂い無し!!

A:平成30年、今年の漢字が「災」に決まったとニュースで言っていたけれども、本当に今年は全国的に災害の多い年だったわね。

災

B:う〜ん、最近余震がめっきり少なくなったけれども、なんと言っても9月6日の「北海道胆振東部地震」には驚かされたよね。

A:結局ここ（白石区）は震度いくつだったのかしら?

B:震度5強ということになっているね。震源地の厚真町が震度7、安平・むかわで6強、千歳市や東区では6弱。白石区と同じ5強の清田区では、里塚付近では液状化で家が傾いたり倒壊寸前になって、これから冬を迎えるのは大変なことだと思うよ。

A:札幌市内でもお亡くなりになった方がいたよね。

B:清田で、棚から落ちてきた本などの下敷きになったようだよ。やはり、家具などは倒れないように、また中から引き出しが飛び出さないような対策が必要だね。

(札幌市の人的被害状況:死者1名、負傷者297名(重傷1名、軽傷296名))

A:この地域では建物への大きな被害はなかったようだけど、あの大きな停電「ブラックアウト」には参ったわね。

B:全く同感。我が家は幸い水道とプロパンガスが大丈夫だったので助かったけれど、向かいのマンションの方などは、近くの公園を往復して水を確保したそうだね。高い階に住んでいる人は本当に大変だったようだね。

A:あのときは明け方だったからガスも使っていなくて心配なかったけれど、もし使用中にあった強い地震が来たらと思うと心配だね。

B:マイコンメーター（都市ガス・プロパン）が、

震度5程度以上の地震が発生したら使用中のガスを自動的に遮断してくれるので、あわてることはないようだよ。戸別のプロパンの場合は、ニオイなどでガス漏れを確認し、心配なときはガスの使用をやめ、器具栓→ガスの元栓→ガスメーターバルブ→容器バルブを全部閉め、お店に緊急連絡することになっているようだね。

A:でも、停電になると固定電話も使えなくなるから、携帯電話（スマートフォン=以下携帯）にライフラインの番号登録は不可欠ということね。

B:そう、携帯といえば、電池切れになると使えなくなるから、モバイルバッテリーも必需品のひとつだね。

A:我が家には幸い携帯ラジオがあったからなんとか情報が取れたけれど、もしなかったときのことを考えるとゾッとするわ。

B:お向かいの人は車載充電器で充電し、カーラジオで情報を入手してたみたいだよ。災害復旧が遅れるとガソリンスタンドも大行列になるから、普段から車にある程度の量を入れておいたほうが安心だね。

A:お隣の奥様は東京にいる息子さんが、テレビの全国ニュースで得た情報をその都度メールや電話で知らせてくれて、ずいぶん助かったそうよ。

B:停電となるとテレビはもちろんパソコンも使えなくなるから、今の時代、携帯は無くってはならない存在だね。



清田区液状化被害の様子



A: でも、札幌市全体が断水するなどという悪質なデマも携帯で飛び交ったみたいよ。

B: 熊本の地震のときも、ライオンが動物園から逃げたとか、迷惑な情報を流して楽しんでる輩の存在は本当に不愉快だね。

A: それも停電が復旧すると解決する問題なんだけれど、我が家の復旧はずいぶん遅かったみたいね。

B: そうなんだ、町内でも発災その日の午後には点いた家もあるということだし、向かいのコンビニも次の日には明かりを点けて営業していたよ。でも我が家は9日の夜だもんね。

A: どうしてそんなに差が出るのかしら。病院の近くは早く復旧するという噂？があるけれど本当なのかしら。

B: そんな都市伝説めいた話もあるけれど、先日、町内会長さんがほくでんに確認したところ、確かに命を預かる場所として病院や公共施設等には優先的に配電するマニュアルがあるそうだよ。ただ、安全を確保しながら通電するので、配電線の関係で、時間に差が出ることにご理解を、という説明だったそう。



土木学会：地震工学委員会 HP より転載

A: お隣のおばあちゃんは独り暮らしでずいぶん心細い思いをしたそうだけれど、地震のあった日の午後に民生委員さんが顔を出してくれて、元気づけられたと言っていたわ。

B: 町内会長さんも壊れた家がないか見て回ったと言っていたし、早くに電気が回復した方からは、携帯の充電に来てください、というありがたいお誘いを受けたよ。

A: 今回は避難所のお世話にはならなかったけれど、小学校の近くの人には避難するために学校に行ったら、真っ暗でなかなか中に入ることでもできず大変だったと言っていたわ。

B: 市の基幹避難所(菊水では3つの小学校と幌東中学)の開設の目安は震度6弱以上で、①学校職員②市の職員③各学校避難所運営委員会役員(町内会長など)が駆けつけ、建物安全チェック・避難者待機案内→避難所開設・避難者誘導という手順になるようだ。

A: 鍵なんかは誰が管理しているの

B: 市のマニュアルを見るとそれぞれの学校にキーボックスがあるようだけれど、もし最悪の場合は①②③の人たちの合意で窓を割ってでも入っていいようだ。

A: そんな事態が起きない事を祈るばかりだわ。

B: それにしても、やはり「備えあれば憂いなし」を実感させる出来事だったね。「災い転じて福となす」、亥年はいい年でありますように!!

非常持ち出し品を準備しておきましょう!

※食料・水(ひとり1日3リットル)は3日分用意しておきましょう

防寒具

防寒衣上下、携帯カイロ、毛布、寝袋

安全具

ヘルメットなどの保安帽

救急セット

さす薬、胃腸薬、目薬、脱脂綿、包帯、ばんそうこうなど

食料品

乾パン、缶詰、インスタント食品など

飲料水

その他

携帯ラジオ、懐中電灯、マッチ、手袋、ヒモ、ナイフ、缶切り、ビニール袋など

衣類

下着、タオル、軍手など

貴重品

現金、預金通帳、キャッシュカード(印鑑など)



赤ちゃんのために

ミルク、ほ乳ビン、おむつ、おんぶひも

老人・身体の不自由な方のために

常備薬(メモまたはお薬手帳)、おむつ、担架など

その他必要なものをメモしておきましょう



菊水あ・ら・か・る・と

健康増進フェア

今年度の「健康増進フェア」は11月15日(木)菊水地区会館で149名を集めて開催されました。今回は「菊子さん、地域に支えられる?の巻ーパートⅡ」。菊子さんはじめ出演者の迷演?に腹を抱えて笑った後は、血圧測定」や「脳トレ」・大高さんの指導による「演歌体操」で時間を過ごし、楽しい昼食タイム。午後からは昨年好評を博した「三弦勇登会による三味線と民謡」の熱演に一同酔いしれ、会場に盆踊りの輪が広がり、出演者と参加者が全員で記念撮影。賑やかにおひらきとなり、全員お土産を手に笑顔で会場を後にしました。



DグラフォートV「子どもクリスマス会」



平成30年12月9日(日)、Dグラフォート東札幌Vガーデン町内会で「子どもクリスマス会」が開かれました。

早いもので今年で9回目を数え、1回目から参加されていたお子さんが専門学校に進学し、クリスマス会のお手伝いに来ていただきました。参加人員はほぼ横ばいの105名から115名ですが、今年の参加者は幼児36%・就学64%でした(昨年は幼児54%・就学46%)。

歳月の経過とともに参加者の構成比にも変化が出ておりますが、来年は10周年。新しい形の「子どもクリスマス会」の企画を検討しております。

ご寄付をいただきました!!

マックスバリュ菊水店さんから、「幸せの黄色いレシート運動」の成果としてのご寄付を頂きました。

「幸せの黄色いレシート運動」とは、毎月11日をイオンデーとしてお客様に黄色いレシートをお渡しし、お客様の自発的行為で回収ボックスへ投函していただいています。回収されたレシートの売上金額の1%を地域のために活用していただこうと今回のような贈呈を行っています。

昨年11月1日(木)、福まち大久保委員長と坂田事業部長が「マックスバリュ菊水店」土屋副店長さんから42,300円相当のスライダーマチ付きバッグの贈呈を受けました。福まち活動に大切にに使わせていただきます



編集後記 あけましておめでとうございます。

皆様お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年12月、上白石小学校スクールガードの皆様が児童の皆さんから表彰を受けました。日頃の皆さんの献身的な姿が、子どもさんたちの心に響いたものと、心温まるホットなニュースの紹介で今年の幕開けとさせていただきます。

